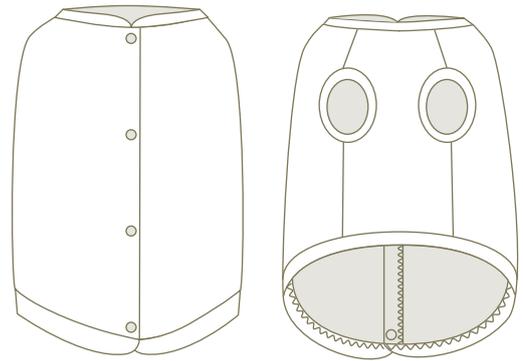


Open back Vest

ドッグウェアパターンレシピ:バックオープンベスト
PT053

milla milla

<http://www.millamilla.jp/>



MOVIE 動画マニュアル

バックオープンベストの作成方法を動画にてご案内しております。下記サイトよりアクセスしてご覧ください。ブロードバンド環境でご覧頂くことをおすすめします。

<http://movie.millamilla.jp/PT053/>

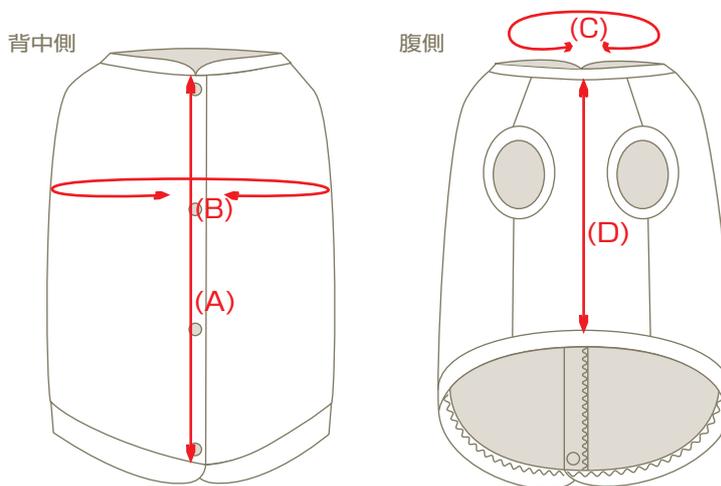
ユーザー名:PT053

パスワード: XXXXXXXXXX

目次

- 01 | 出来上がりサイズ Page 1
- 02 | 下準備 1
- 03 | 接着芯を貼る 3
- 04 | 脇を縫い合わせる 3
- 05 | 肩を縫い合わせる 4
- 06 | リブを作る 4
- 07 | リブを縫いつける 5
- 08 | 表に返してボタンをつける 6

01 出来上がりサイズ



出来上がりサイズ

	着丈(A)	胴まわり(B)	首まわり(C)	前丈(D)	目安体重(kg)
3S	18	31	16	12.5	1.5~2
SS	22	35	19	16	~3
S	24	40	22	18	~4
M	29	47	26	21.5	~6
L	32.5	53	30	25.5	~8
2L	38.5	59	35	32	~12
3L	45	64	37	38	~15
4L	55.5	75	39	43.5	~25
5L	65	85	42.5	49.5	~35
6L	69	95	64.5	54.5	~50
7L	75	105	50.5	60	~60
8L	83	115	53	67	~80
DS	29	40	22	22.5	3~4
DM	31.5	49	26	25	~6
FB-S	25	48	30	22	~8
FB-M	28	52	35	27	~12
FB-L	34.5	56	39	27	~15

(単位 cm)

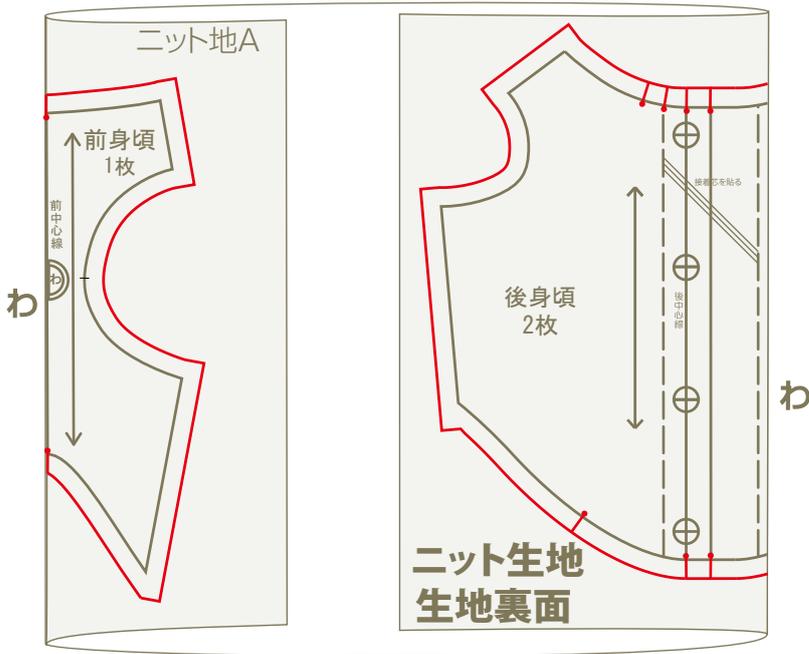
02 下準備

- ①型紙を切り取り、必要用尺を計算します。縫い代つき型紙(1cm)です。
- ②生地を購入し、布帛(ニット地でない生地)は必要であれば水通し、地直しをします。
- ③型紙を配置し、ゆっくり生地を裁断します(赤線)。
合印  に3mmほどの切り込みを入れます。



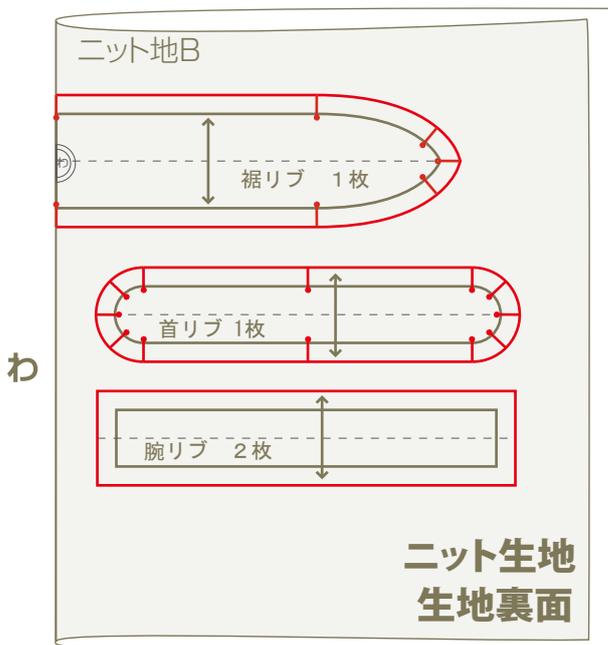
※注意
左記の必要用尺は、下図のようにA×Bcm幅にて記載しています。
生地によっては巾が違うので、あらかじめ生地に余裕をもってご用意ください。

型紙の配置例



材料

- ☆ 生地A: ニット地(トレーナー地又はTシャツ地)/前身頃、後身頃用
- ☆ 生地B: ニット地(リブ地)/ 首リブ、腕リブ、裾リブ用
- ☆ 糸: レジロン(ニット用糸): 上糸
ウーリー糸: 下糸
- ※ ロックミシン使用の場合は、ロック用スパン糸を4個ご使用ください。



生地必要用尺

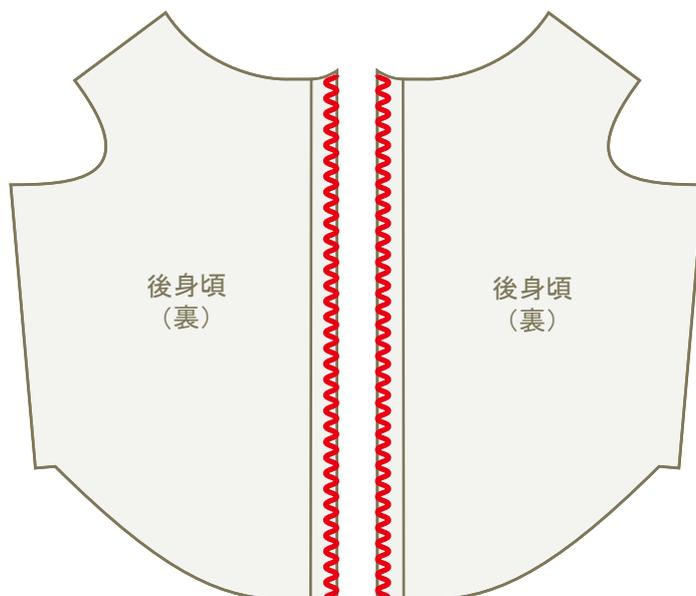
	生地A A×B	生地B A×B
3S	35×110	30×110
SS	35×110	30×110
S	45×110	35×110
M	45×110	40×110
L	50×110	40×110
2L	55×110	40×110
3L	65×110	50×110
4L	70×110	60×110
5L	100×110	60×110
6L	110×110	65×110
7L	170×110	110×110
8L	200×110	130×110
DS	45×110	40×110
DM	45×110	40×110
FB-S	40×110	35×110
FB-M	45×110	40×110
FB-L	50×110	40×110

(単位 cm)

- ※ 首リブは1枚裁断します。
- ※ 6L、7L、8Lは裾リブの長さが長いため、2枚裁断後、つなぎあわせて1枚の裾リブとしてお使いください。

03 接着芯を貼る

- ①5.5cm巾で後身頃の丈の長さにあうように接着芯を2枚切ります。
- ②後身頃の見返しに接着芯を貼ります。余分な接着芯を切り落とします。
- ③見返し端にジグザグミシンをかけます。



04 脇を縫い合わせる

- ①前身頃と後身頃の脇を中表で重ね、1cmの縫い代で直線縫いし、直線縫いのそばをジグザグミシンで縫い合わせます。余分な縫い代を切り落とします。
- ②反対の脇も同様にします。
- ③縫い代を前身頃側に倒します。